

経営比較分析表（令和5年度決算）

千葉県地方独立行政法人さんむ医療センター 地方独立行政法人 さんむ医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	対象	ド訓	教 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	16,838	非該当	非該当	7：1

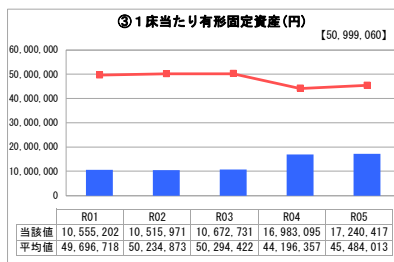
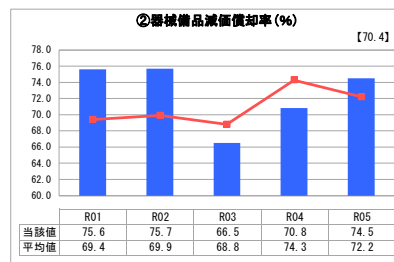
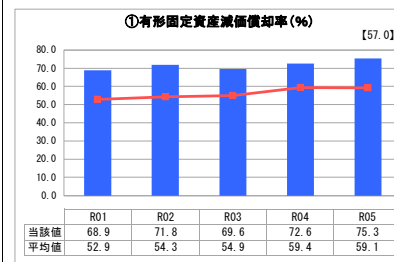
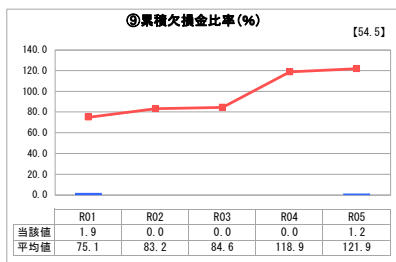
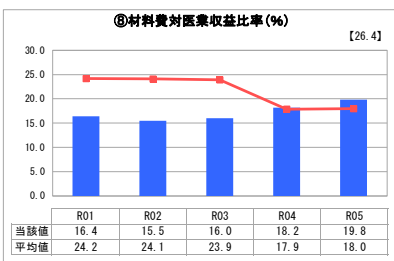
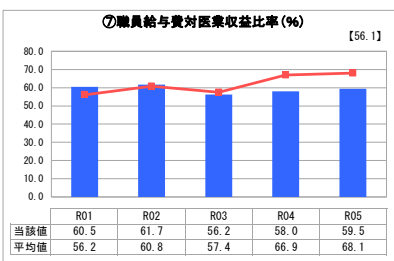
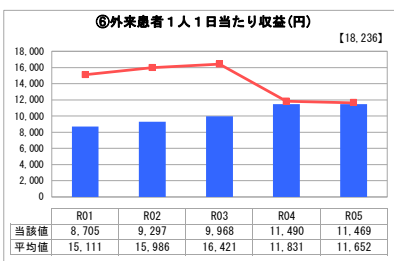
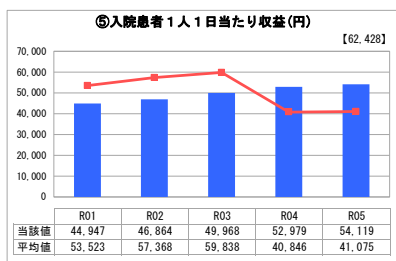
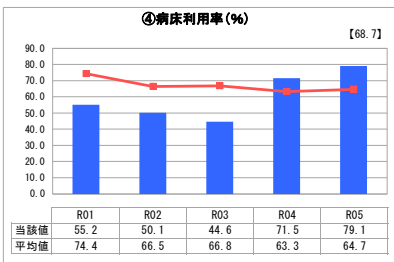
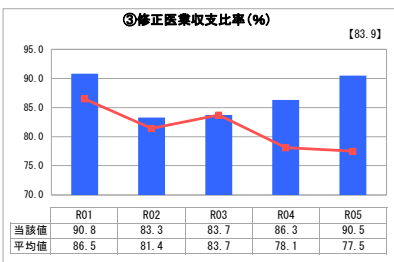
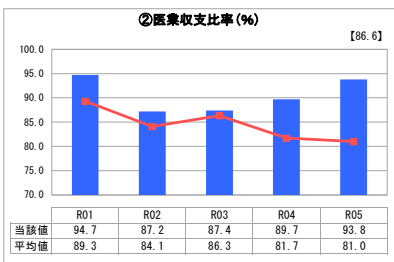
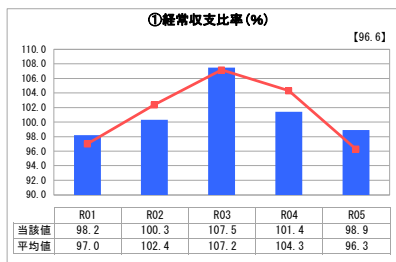
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
182	-	182

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の設備・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は山武長生奥隅保健医療圏の救急告示病院として、各医療機関との患者の紹介・逆紹介などの協力体制を構築しながら、二次救急を担うとともに地域がん診療病院として緩和ケア病棟の運営や回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟の運営を行っている。
診療所や介護施設との連携のもと自宅に復帰するまで、切れ目のない医療を提供し、地域に密着した信頼される地域包括型医療の提供を行っている。
また、専門的な外来を充実させることで、専門医師の研修の場の提供を進め、地域がん診療病院として地域の中核を担う医療体制の充実を図っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については100%を下回っているが、修正医業収支比率は増加している。
新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、入院患者・外来患者ともに増え、医業収益が増えたことにより前年度比4.2%増となった。
患者1人当たりの収益は入院では増加することが出来たが、外来は微減となっている。

2. 老朽化の状況について

器械備品の老朽化が進んでいることから、前年度よりさらに減価償却率が増加傾向にある。
令和4年度に新病院へ移転され、器械備品の更新も進むことから、減価償却率は低くなると思込まれる。

全体総括

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により診療体制に制約があったものの、令和4年度に比べ入院患者・外来患者ともに増え、医業収益が増加した。

一方、支出面では給与の増加や医業収益増加に伴う医薬品費・診療材料費の増加及び、原材料費・輸送費・光熱費などの物価高騰の影響に大変苦慮し、あらゆる経費削減に努めた。
今後も周辺地域への継続的な医療を提供する為、経営改善に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。